

# 学びを止めるな



Illustrated by Takashi Inui

第60回(2021年)  
 全国保育問題研究集会  
 東京集会(オンライン)  
 実行委員会  
 〒113-0033  
 文京区本郷 5-30-20  
 サンライズ本郷 7F  
 TEL 03-3818-8026  
 FAX 03-3818-8026

## 東京集会(オンライン)実行委員会 チーフ紹介! ①

現在行われている東京集会実行委員会は、様々な部署に分かれて、全国集会初のオンライン開催に向けて知恵を絞っています。各チーフから、自己紹介と、全国集会に向けての意気込みを語ってもらいます。第一弾は、広報・渉外チーフの、神田さんです!

### 広報・渉外係チーフ 神田朋実

55 回東京集会では教室係でしたが、今集会では広報・渉外係チーフとなりました。東京保問研で毎月発行している会報編集を担ってきた経験を少しでも活かせればと思っています。10月24日に初実行委員会、11月18日に第2回実行委員会があり、ここで、集会テーマや日程等を全国常任に提案する段取りができました。この頃から広報・渉外係として集会案内、集会ニュースの作成に取りかかり始めました。始めは3人だった広報・渉外係が今では6人に増え、55回集會時、広報係だったメンバーも入ってくれました。

係内で作業を分担し、各自進めた作業をメール上で共有し、意見を交わしながら作業を進めています。対面ではないため、意見交換に時間を要しますが、そこは55回集會を経験した強みで、それぞれが見通しを持って自分のできることを見つけながら作業を進めていっているので、とつても心強いです! 2020年年末に無事に集会ニュース「学びを止めるな」1号がHPにアップされた時にはホッとしました。が、これから集会案内の作成が大詰めになり、その後は集會要綱作成も待ち構えています……(苦笑)。

例年であれば1年以上要して準備していたものを、半年ほどで行わなくてははいけないので、正直目が回ります。ですが、係会議、東京会議(事務局、各係チーフによる会議)、実行委員会の中で、色々な人の意見を受けながら作りあげていくことで、よりよいものに仕上がっていくこの達成感はやはりよいものだなあと、感じています。

保問研史上初のオンライン開催なので、必要な情報を皆さんにできるだけわかりやすく伝えられるよう、頑張っていきたいと思います。これからの集会ニュース、集会案内、集會要綱をどうぞ楽しみにしてください!!



## 東京保問研 部会がんばってます!! ~美術部会~

伊藤正雄

子どもたちの作品を手に取りながら話し合い、手作りおもちゃ等を楽しみながら製作するのが美術部会の魅力でした。コロナ感染拡大は部会の在り方に大きなダメージを与えました。しかし、描画・製作・感触あそび等について現場は大きな悩みを抱えています。部会活動はとにかく続けたいと思って考えたのが美術部会通信を作り、郵送する方法です。

美術部会で今まで出された疑問を整理しながら、『対話による描画活動』や『絵日誌』の取り組みからヒントをもらいつつ、毎号記事を書いています。文章中心の通信ではマンネリになってしまうと思い、手作りおもちゃの作り方の解説や、封書 50g の範囲内で見本おもちゃの同封も行っています。

東京の中では小規模な部会である美術部会。色々な工夫をしながら活動を続けていきます。



## 全国の仲間からのメッセージ



### 「学びを止めるな～東京集会への思い～」

京都保問研 西川由紀子

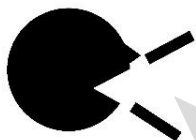
「学びを止めるな」というテーマをみて、東京の気迫を感じました。保育現場も教育現場も、当たり前前の日常とは異なる生活の中で、新たな日常をつくるために、日々難題に向き合っています。その中で、集会を引き受けようという決意を、どの地域より感染防止に追われている東京保問研が引き受けてくださったことの意味を感じています。その気迫に充ちた決意に敬意を表するために、一本でも多く提案を出したいと思い、京都でもリモート部会で、提案づくりに励んでいます。こんな日常を生きながら、部会が終わるたびに、保育の息吹を感じ、保問研があってよかったと思っています。どんなときにも、保問研はわたしたちの宝ですね。東京集会が楽しみです！

### 「東京集会取り組みへの感謝」

仙台常任委員 丹野広子

コロナ禍が猛威をふるう中、「学びをとめない」という保問研の歴史を受け継ぎ、全国集会の準備を進めている実行委員会の皆様、本当にありがとうございます。

2021年は「東日本大震災から10年」という節目に、仙台での開催を予定していました。コロナ禍で実行委員会ができないと途方にくれてしまいう中、東京が開催すると言ってくださいました。東京での日ごろの活動がコロナ禍の中でもZoomを活用し継続していたことに裏づけられてのことと知りました。戦前戦後と活動の灯を掲げた東京が、窮地を乗り越えオンラインで全国の仲間とつながることを進めていることに、大きく励まされています。くれぐれもお体に気をつけていただきますように。



### 実行委員会メンバーの声

チーフ以外にも東京保問研会員が、会議に参加しています。オンラインでの会議に参加してみたの率直な思いを聞いてみました。



近紀子さん

初めて委員会に参加し、熱心な委員会の方々からパワーをいただきました。今の保育園に8年いて、井の中の蛙になってるかも思いました。目先のことで目一杯になっている今だからこそ、保問研という話せる場の意義を感じ、全国にいる保育・子どものことを熱く考えている方々に対し、尊敬と感謝の思い、活力をいただきました。



駒田直子さん

月一回の保問研事務所で開かれていた部会がコロナでzoomになり、機械音痴の私にはなす術もなかった。

部会員、姉の協力でzoomで東京集会実行委員会にも参加できるようになった。zoomでは「誰もがどこからでも気軽に考えや意見を出すことが出来る」ちょっと違った世界があり、終わればもうそこは自宅。

### 東京保問研のオンライン部会

現在東京保問研の各部会は、zoomを使用しているオンラインをメインにして行っています。参加の方法は全国保問研HPに記載されています。是非ご参加ください！

- 生活指導部会 2/15 (月)、3/26 (金)
- 乳児部会 2/6 (土)、2/22 (月)
- 文学部会 2/25 (木)
- 身体づくり部会 1/29 (金)、2/26 (金)